事例No.	2190
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道鶴居村

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・移住定住

事例種類	地域資源活用

事例内容・タイトル

鶴居村クラフトブルワリー事業

出典

地域力創造推進に関する研究会（第3回）

ローカル10,000プロジェクト 北海道鶴居村
「鶴居村クラフトブルワリー事業」

令和3年度採択

【事業背景】

〇酪農業が主産業で、製造業は村営チーズ工場など零細なものに止まっており、様々な職種をカバーする雇用の受け皿が不足している。

〇人口減少、少子高齢化の進展により、中心市街地の店舗が減少。街の賑わいが減退し、隣接都市へ日常品の購買や飲食の流失により、地域経済が循環していない。

〇クラフトビールのブームにより、全国に数多くのブルワリーが誕生しているが、ビール醸造を学ぶ場所がなく醸造技術を持つ人材が不足している。

【事業実施者】 株式会社 Ｋｎｏｔ

【自治体・金融機関の支援内容】

〇公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：26,250千円

地方費：8,750千円

〇釧路信用金庫による融資：30,000千円

〇釧路信用組合による融資：25,000千円

【取組内容】

〇民間企業を誘致し、人口減少に伴い廃校となった小学校の体育館内にクラフトブルワリーを整備する。

〇ブルワリーには物販や見学スペースを設け、観光客やビール醸造を学びたい人々を受け入れ、人々が交流できる場所とする。

〇クラフトビールを地域資源である清らかな水やブドウなどを利用して醸造し、新たな特産品・観光資源として活用する。



旧茂雪裡小学校



体育館



ブルワリーイメージ

【地域への貢献】

〇地元に新たな職業の選択肢と雇用の受け皿が創出される。

〇ビール醸造を学びに訪れる者の人流の発生で関係人口が増加、観光資源を楽しむ人々で交流人口が増加、工場への雇用により定住人口が増加するなど新たな交流により街の賑わいが創出される。

〇地域消費が高まり、地域経済が循環される。